新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ

～「新しい日常」が定着した社会の構築に向けて～

令和2（2020）年5月22日（金）

ロードマップの５つのポイント

1. 外出自粛等の徹底を通じて、感染を最大限抑え込む
2. モニタリング等を通じた、都民生活や経済社会活動との両立
3. 必要な場合には「東京アラート」を発動
4. 「第２波」に対応するため、万全の医療・検査体制を整備
5. 「新しい日常」が定着した社会の構築

モニタリング指標の状況（５月２１日現在）

		緩和の目安	再要請の目安
新規陽性者数	8.4人	1日20人未満	1日50人
新規陽性者における接触歴等不明率	47.5%	50%未満	50%
週単位の陽性者増加比	0.33	１未満	2
重症患者数	42人		
入院患者数	679人		
PCR検査の陽性率	1.7%		
受診相談窓口における相談件数	1,014件		

レインボーブリッジライトアップの実施

【目的】

７つの指標を象徴する７色のレインボーカラーのライトアップを
レインボーブリッジで実施し、都民への分かりやすい周知を実施

【実施内容】

緊急事態宣言解除以後　　２０時から２４時まで
※医療関係者等応援ブルーライトアップは１９時から２０時までで継続

緊急事態宣言解除以後	７色のレインボーカラーで点灯
東京アラート発動期間中	赤色で点灯

レインボーブリッジライトアップのイメージ

休業要請緩和のステップ（施設別）

	ステップ0	ステップ1	ステップ2	ステップ3
博物館・美術館 運動施設・学校　等	×	○or△	○	○
学習塾・劇場・集会場 生活必需品販売 以外の店舗等	×	×	○	○
漫画喫茶・パチンコ屋 ゲームセンター 遊園地　等	×	×	×	○
飲食店　等 （居酒屋を含む）	朝5時～夜８時まで （酒類提供夜７時まで）	朝5時～夜１０時まで （酒類提供夜１０時まで）	朝5時～夜１０時まで （酒類提供夜１０時まで）	朝5時～夜１２時まで （酒類提供夜１２時まで）
接待を伴う飲食店 ライブハウス カラオケ店・ジム　等	×	×	×	×
イベント	×	50人まで	100人まで	1,000人まで

学校の段階的再開

	段階的再開（分散登校）のイメージ ※都立高校の例			一斉登校
登校頻度（週あたり）	１日	２～３日程度	３～４日程度	５日
在校時間	２時間程度	半日	１日	１日
生徒数割合	1/6程度	1/3程度	1/2～2/3程度	全員
学びの確保（ハイブリッド方式）	学校と家庭学習の配分を変えて、第二波にも備えていく （学校）↕（家庭） 学校での対面指導 家庭でのオンライン学習等			

学校と家庭学習（オンライン学習等）との組み合わせによる教育活動

「第２波」に備えた検査・医療等の体制整備

検　査

迅速に検査を受けられる体制の充実

都内全域で検査体制を拡充

新型コロナ外来・PCRセンター　計96か所（4月末現在）

→　計138か所へ拡大

医　療

これまでの都の取組を検証し、症状に応じた医療提供体制を整備

患者の重症度や特性に応じた受入体制の強化

・都立公社病院を中心とした病床確保

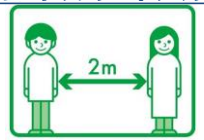
・感染症入院重点医療機関の指定

［重症度］重症・重篤、中等症等
［患者特性］認知症、小児・周産期、透析、精神、神経難病等

暮らしや働き方の「新しい日常」

手洗いの徹底・マスクの着用

ソーシャルディスタンス



SOCIAL DISTANCE（距離を保とう）

「３つの密」を避けて行動

NO!!3密

買い物

- ■少人数・短時間で済まそう
- ■レジで並ぶ時は間隔をあけよう
- ■通販やキャッシュレスを活用しよう

娯楽・スポーツ等

- ■オンラインを活用し楽しもう
- ■公園は空いている時間、場所を選ぼう

公共交通機関

- ■混んでいる時間帯を避けよう
- ■徒歩や、自転車を利用しよう

食事

- ■お箸やお皿の共用を避ける、座り方を工夫するなど、新しい食事マナーを実践しよう
- ■テイクアウトやデリバリーを利用しよう

働き方

- ■テレワークや時差出勤を広げよう
- ■オンライン会議やはんこレスを進めよう
- ■ついたてや換気、消毒など、職場に応じた工夫をしよう

事業者向け「東京都感染拡大防止ガイドライン」
～「新しい日常」の定着に向けて～

1．商業施設等利用者への対策

- 時間制来場者システム、オンラインチケット販売等による混雑緩和
- 人と人との間隔確保（２m程度）
- マスク着用の周知　等

2．従業員への対策

- 検温等による体調管理の徹底
- 共有物品の定期的な消毒
- マスク着用の徹底　等

3．施設環境整備

- 窓口等の対面場所にアクリル板等で遮蔽
- チケットレス等導入による接触回避　等
- タッチパネル等不特定多数が触れる場所の清掃・消毒　等

4．感染者発生時に向けた対応

- 顧客リストやアプリの活用などによる来場者の把握

5．各施設別のガイドライン

- 各業界別の感染拡大防止例
- 各業界団体ガイドラインの周知徹底　等

「新しい日常」の定着に向けた多面的なサポートを推進

感染症防止と経済社会活動との両立

感染拡大防止に資する新ビジネス・業態転換・対策の支援　など

社会構造の変革

テレワーク・オンライン教育・デジタルトランスフォーメーションの加速化　など

セーフティネットの充実

中小企業融資・雇用・ひとり親家庭などへのサポート　など

１都３県による連携

１都３県共同メッセージ

緊急事態は継続中

感染予防を改めて徹底しましょう
・外出の自粛
・お互いに2mの距離を確保
・手洗い・咳エチケットなどの取組

次なる感染拡大の波に備えて

我々は連携を更に深めて全力で
・みんなの「いのちと暮らし」を守ります
・一歩進んだ新しい社会を実現します

水際対策の強化に関する国要望

・入国管理・検疫体制の強化
・接触追跡システムの構築等による
　感染経路の把握

新型コロナウイルスを克服し、東京の未来を創るアイデア募集

都民、大学研究者、医療関係者、企業などから東京の未来を創るためのアイデアを幅広く募集する

募集テーマ

多様な主体との協働により社会的課題を解決する手法など
新型コロナウイルスを克服し、東京の未来を創るアイデア

募集日程

５月２２日　募集開始
７月３１日　締切

募集方法

メール送付
ideabosyu@section.metro.tokyo.jp
又は郵送